

## 地下水調査の結果について (令和元年5月)

令和元年5月に行った地下水調査の結果、全ての観測井戸において、地下水の水質汚濁に係る環境基準値を満足していました。

供用開始後の地下水調査の結果

単位：mg/l

項目	試料 (採水日)	ホーリング No. 1	ホーリング No. 2	ホーリング No. 3	定量下限値	基準値
		5/15	5/15	5/15		
pH		6.3	7.1	5.4	—	—
電気伝導率		55.5	34.2	17.9	0.1	—
浮遊物質		不検出 (<1)	不検出 (<1)	不検出 (<1)	1	—
総水銀		不検出 (<0.0005)	不検出 (<0.0005)	不検出 (<0.0005)	0.0005	0.0005以下
アルキル水銀		不検出 (<0.0005)	不検出 (<0.0005)	不検出 (<0.0005)	0.0005	検出されないこと。
カルシウムイオン		54	38	7.0	0.1	—
ナトリウムイオン		21	19	25	0.1	—
カリウムイオン		0.5	0.6	1.2	0.1	—
マグネシウムイオン		10	8.1	1.5	0.1	—
硫酸イオン		25	26	1.3	0.1	—
硝酸イオン		14	10	不検出 (<0.1)	0.1	—
炭酸水素イオン		100	120	29	0.5	—
塩化物イオン		84	27	42	0.1	—

(注) ・不検出とは、定量下限を下回っていることを示します。

・分析は、「土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン（改訂第2版）」の「Appendix-7地下水の採水方法」に従い採水した試料を用いて分析した。